原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2020年6月 検針分)

2020年1月～2020年3月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2020年6月 検針分の単位料金は、2020年5月 検針分 に比べて、1^m (45MJ)当り
▲ 0.09 円(消費税込)、標準家庭(26^m)では月額 ▲ 3 円の調整を行うこととなりました。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	(A) 2020年5月	(B) 2020年6月	(B)-(A)
A料金表 (0 ^m ～24 ^m)	円/ ^m	229.11	229.02	▲ 0.09
B料金表 (24 ^m を超える)	円/ ^m	170.05	169.96	▲ 0.09

●平均原料価格

	単位	2019年12月 ～ 2020年2月	2020年1月 ～ 2020年3月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	52,910	52,920	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	52,620	50,930	
平均原料価格	円/トン	53,120	53,050	46,100

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9541 + LPG平均価格 × 0.0502

(10円未満端数四捨五入)

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)
= 53,050 - 46,100 = 6,900 円/トン

(100円未満端数切捨て)

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.084 × 原料価格変動額 ÷ 100円 × (1 + 消費税率) (小数点第3位以下の端数切捨て)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2020年6月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0 ^m ～24 ^m)	円/ ^m	222.65	229.02	6.37
B料金表 (24 ^m を超える)	円/ ^m	163.59	169.96	6.37

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(^m)	(A) 2020年5月	(B) 2020年6月	影響額 (B)-(A)
26	6,592	6,589	▲ 3

計算式・・・基本料金(税込) + 調整単位料金(税込) × 使用量 (1円未満の端数は切り捨て)